

平成24年12月25日

滝沢村長 柳 村 典 秀 様

滝沢村補助金等審議会

会長 齋 藤 俊 明

平成24年度実施補助金公募制度の審査について（中間答申）

本審議会は、平成24年7月17日付けで滝沢村長から諮問がありました「平成24年度実施補助金公募制度の審査について」のうち、個別申請補助金に関し審査を行いましたので、別紙のとおり答申いたします。

滝沢村補助金等審議会
中間答申

平成24年12月
滝沢村補助金等審議会

はじめに

本審議会は、平成24年7月17日付けで滝沢村長から諮問があった「平成24年度実施補助金公募制度の審査について」のうち、個別の申請書に基づいて行った審査結果を中間答申として答申するものである。

審査の方法については、各事業の個別申請書に基づき、予め本審議会委員が個々に評価を行ったのち、平成24年11月6日及び11月21日に補助団体の事業報告、委員による補助目的、現状と課題、効果などの聞き取りと合議による調整を図ったものである。

今回の中間答申においては、個別申請補助金として申請を受けた事業18件について、全体としての総括的な講評を行い、審査結果を答申するものである。

平成24年12月

滝沢村補助金等審議会

会 長	齋 藤 俊 明
委 員	宮 本 とみ
委 員	古 館 敏 男
委 員	高 橋 有 幸
委 員	鈴 木 修

1 個別申請補助金について（総括）

平成24年度の個別申請補助金の公募は、平成24年8月31日に申請が締め切られ、18件の申請があった。それらについての審査が本審議会に委ねられたものである。

審査を行った際に見受けられた事項で、今後改善を要する事項は次のとおりである。

（1）申請書類の記載内容

今回の個別申請補助金は、基本的には申請者自らの発意に基づき行う事業であるが、申請書類の記載において、事業の目的、内容及び事業実績等の内容が不明確である事業が一部見受けられた。

特に村の総合計画後期基本計画の目標値との関連性については補助団体と共有することが必要であり、事業補助として効果的に活用されているのかを十分精査し、更なる成果の向上を目指すことが重要である。

補助金申請書類については、明確な記載が求められるものであり、申請書類を作成するにあたり、村には申請者への支援及び助言が必要であると認められる。

（2）継続申請について

平成21年度に申請した補助金で、継続するものは再申請が必要となり、その申請に当たって過去3年間の実績の評価がなされていたが、成果の検証が不十分な事業があった。

評価については、単なる実施内容の記載ではなく、事業の結果を踏まえ何がどの程度変わったのか、また、事業の目的にどの程度資するものであったのか等を整理し、次年度以降の活動に反映するために行うものである。したがって、事業者には評価結果に応じた事業内容の見直しと精査が求められる。

2 個別申請補助金の審査方法及び審査結果について

審査は、別紙1の審査シートを用いて本審議会委員が個々に評価を行ったのち、合議による調整を図ったものである。申請事業の別紙1の評価点数については、各委員評価の平均点数である。

申請事業と評価点数との関係については、申請事業の公益性、総合計画との関連性、事業の目的及び内容とその効果について審査を行った結果、本審議会としては、申請があった全ての事業について、補助事業としての公益性、効果等が認められる事業であると評価した。

各個別申請補助金の審査内容については、別紙2の一覧による。

平成24年度公募補助金審査シート(個別申請用)

審査シート番号	
審査縦青紙記載番号	

評価点数	
合計	100

委員意見欄

A	審査内容	No.	審査項目	評価	審査・検証資料
	補助金交付基準に基づく公益性の判断	1	公益	20	補助金交付基準による公益の分類 ※該当する欄に「○」 ※個別申請補助金は、公益性による差が生じにくいことから、公益性の配点を政策補助金より低めに設定している。
2	共益的公益	15			
3	私益的公益	5			
4	公益性が希薄なもの	0			

A分類
20

B	審査内容	No.	審査項目	評価	審査・検証資料	
	補助事業の適格性	1	補助事業の目的及び内容は適格か	20	10	0
2		時代のニーズに合致した事業か	5	3	0	※時代に沿った事業であり、既に役割を終えているものではないか。
3		補助金の積算の内容は明確か	5	3	0	※誰もがわかる積算内容であるか。積算根拠は妥当か。
4		補助金の充当経費は適切か※	5	3	0	※食料費や慶弔費に補助金が充当されていないか。

B分類
35

平成24年度公募補助金審査シート(個別申請用)

C	審査内容	No.	審査項目	評価			審査・検証資料
	滝沢らしさ	総合計画との関係	1	重点政策に合致している。(滝沢村総合計画後期基本計画(施策要綱)7~9)	15	8	0
基本政策に合致している。(滝沢村総合計画後期基本計画(施策要綱)1~6)				10	5	0	
2		事業の特色	・住民協働を促す事業である。	10	5	0	
			・滝沢の資源を活用した事業である。	10	5	0	

C分類
35

D	審査内容	No.	審査項目	評価			審査・検証資料
	補助事業者の自立	1	自主財源確保・拡大の努力が行われている。※	10	5	0	自らが進んで行う補助事業であることから、村からの援助に頼らない姿勢がうかがえるか否かを判断。

D分類
10

E	審査内容	No.	審査項目	評価			審査・検証資料
	補助事業の効果の捉え方	1	事業効果の考え方	※事業効果の把握の仕方等について、意見がある場合に右欄に記入			

E分類
0

平成24年度公募補助金【個別申請】一覧

No.	申請事業名	申請者名	事業の目的(申請書から抜粋)	事業の内容(申請書から抜粋)	申請補助金額	審議会における意見
60～69点(審査シート順)						
A-1	高齢者就業機会確保事業	社団法人 滝沢村シルバー人材センター	高齢退職者等(以下「高齢者」という)の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務に係る就業の機会を確保し、これを組織的に提供することにより高齢者の福祉の増進に資し、もって活力ある地域社会づくりを目指して活動していくことを目的とする。	1 受託事業 2 無料職業紹介事業の推進 3 一般労働者派遣事業 4 講習事業 5 普及啓発活動の推進 等	7,100	ほぼ職員の人件費に補助金を充当していることから、今後、職員の増員・昇給に伴い補助金が増大してくるので、今後の対応方針について早めに考えていく必要がある。また、将来的な自立を目指し、収益性を考慮しながら事業を推進していく必要がある。
A-6	滝沢村小中学校文化体育連盟事業	滝沢村小中学校文化体育連盟	滝沢村立各小中学校の文化活動及び体育活動の振興を推進する。	当該年度に行われる各種文化・体育の大会で、地区大会・地区予選を経て県大会以上の大会に出場した児童生徒及び引率者に対し、旅費を補助する。	4,500	スポーツ少年団等の関係性のある団体との役割の整理等を実施し、村全体のレベルの底上げが可能な体制を構築していく必要がある。また、事業実施の効果の測定的手段として、卒業した選手の動向を把握していくことも必要である。
A-12	財団法人滝沢村体育協会補助事業	財団法人 滝沢村体育協会	滝沢村のスポーツ振興と健康づくり推進のため、村民にスポーツ・レクリエーションを実践する機会を提供し、生涯スポーツび普及定着とスポーツ人口の拡大を目指すとともに加盟団体の組織強化を図りながら競技スポーツの充実強化に努める。	1 加盟団体の育成強化と相互の連絡・強調を図ること 2 村民の健康・体力づくりに関すること 3 競技力の向上に関すること 4 総合型地域スポーツクラブ(チャグチャグスポーツクラブ)の育成・奨励 等	37,463	ほぼ職員の人件費に補助金を充当していることから、今後、職員の増員・昇給に伴い補助金が増大してくるので、今後の対応方針について早めに考えていく必要がある。 活動指標と事業実施の成果が連動していないので、活動指標を見直す必要がある。
A-13	滝沢村保護司協議会事業費補助金	滝沢村保護司協議会	保護観察所と保護司間の連絡調整を行うとともに、個々の保護司の処遇活動(保護観察・環境調整等)の支援や、保護観察所との連携による保護司の研修、自己啓発促進及び地域の防犯活動等を担う。	1 会議 2 研修 3 社会を明るくする運動 4 関係機関・団体との連携 5 会員交流	185	活動指標が保護司の人数となっているため、事業目的に合致した活動指標とする必要がある。 今後は、協議会を通じて保護司の活動が広く理解されるよう期待する。
50～59点(審査シート順)						
A-2	商工業振興事業	滝沢村商工会	1 経営改善普及事業は、会員、非会員を問わず地域の小規模事業者の経営の改善発達を図ることを目的とする。 2 地域総合振興事業は、村内商工業者の全般的な育成、地域商工業の振興、社会一般の福祉の増進に資することを目的とする。	1 経営改善普及事業 経営指導員等を設置し、年間を通して小規模事業者に対する金融、税務、販売管理、経理等その他の経営指導等を行う 2 地域総合振興事業 随時、中小企業対策や地域振興対策等の意見活動、異業種交流、まちづくりの推進、各種イベントの開催等の総合振興事業等を実施	13,030	現在は商工会への加入率を指標としているが、分母である各種統計上の企業数の把握ができないため、活動指標の見直しが必要である。 滝沢の個性を活かしたブランド化につながる事業の展開を期待する。
A-3	滝沢村観光協会補助事業	滝沢村観光協会	チャグチャグ馬コや岩手山などの自然、文化関連事業を民間団体等と協働で実施し、村内観光物産資源のPR事業を行い、観光産業の振興を図る。	1 観光客の誘致及び観光宣伝 2 観光資源の調査、開発、保全 3 観光諸行事(チャグチャグ馬コ等) 4 観光施設の整備と利用 5 観光思想の普及及び観光の案内情報 6 物産の奨励、紹介宣伝	10,700	村からの自立や法人化といった方向性が見えてこないため、今後につながる事業を行いながら、長期的な視点で収益性のある事業を行っていく必要がある。
A-4	担い手育成基盤強化支援事業	滝沢村認定農業者協議会	村の認定農業者相互の連帯を強めるとともに、情報交換や技術研鑽を通じて、自らが農業の課題と方向性について研修し、農業経営の安定向上地域農業の振興と活性化を図る。	1 会議の開催 2 研修会、講習会及び情報交換会の開催 3 県レベルの研修会議、講習会参加に対する助成等	500	活動指標が会員数となっているが、事業目的に合致した活動指標とする必要がある。 事業実施の成果の測定方法を明確にすべきである。
A-5	土地改良事業(狐洞地区)	岩手山麓土地改良区	土地改良事業はかんがい等様々な農業効果を発揮し安定した農業生産に寄与している。しかし農村環境や社会経済状況の変容、施設の老朽化に伴い管理者の維持管理負担は増加傾向にある。よって維持管理負担の軽減と土地改良施設の機能保全に資するため本事業を実施するものである。	水路工 RCU(水路式)450×450 L=151m	580	対症療法的な修繕ではなく、土地改良施設全体の修繕計画を策定した上で、今後の修繕を進めていく必要がある。
A-7	滝沢村子ども会育成会連絡協議会開催事業	滝沢村子ども会育成会連絡協議会	各単位子ども会活動の活性化を図ると共に、子供の健全育成に寄与する。	1 夢灯り事業 2 育成指導者としてのジュニアリーダーズクラブ「クレヨン」の指導支援	81	活動指標が研修会開催回数となっているので、事業目的に合致した活動指標とする必要がある。 今後は、大学や類似した組織等と連携し、事業の推進を図っていく必要がある。

平成24年度公募補助金【個別申請】一覧

No.	申請事業名	申請者名	事業の目的(申請書から抜粋)	事業の内容(申請書から抜粋)	申請補助金額	審議会における意見
50～59点(審査シート順)						
A-8	青少年健全育成事業	滝沢村少年団指導員協議会	子ども達に自然活動をはじめとする、体験活動の機会を提供し、その楽しさを知ってもらい、野外活動を推進する。また、集団活動や異年齢交流を通し、青少年の健全育成を図る。	1 友遊キャンプ 2 冬のプレスクール 3 村・各小学校・子供会の行事や活動の支援等	34	活動指標が指導員活動回数となっているので、事業目的に合致した活動指標とする必要がある。 今後は、大学や類似した組織等と連携し、事業の推進を図っていく必要がある。
A-9	滝沢村青少年健全育成青少年少女のバス交流事業	滝沢村青少年育成村民会議	村内の子ども会等少年団体の活動に参加している子ども達を、県外(山形県、秋田県)に派遣し、活動体験等の交流研修を行いながら、歴史や産業・文化の学習を通して子ども達の社会参加活動の啓発に資するとともに、学校・学年の枠を越えた交流・仲間づくりにより、青少年健全育成推進活動の一助とする。	1 バス交流事業 2 文集発行 3 会報作成	140	前回の申請同様県外への研修であるが、県外にこだわる明確な理由が認められないことから、県内の歴史文化や産業の学習による、学校・学年を越えた交流・仲間づくりを検討する必要がある。
A-10	滝沢村地域婦人団体連絡協議会開催事業	滝沢村地域婦人団体連絡協議会	女性としての地位と役割を認識し、社会活動を営む知識を身につけながら、皆で手を取り合い、健康な家庭と社会を作る。 地域社会の福祉と会員相互の親睦を深め、教養を高めながら住み良い村づくりを進めると共に、村女性団体の連携にも努める。	1 研修事業 2 子育て支援事業 3 環境浄化事業 4 福祉事業 5 広報事業	95	活動指標が研修開催回数となっているが、事業目的に合致した活動指標とする必要がある。 また、自立運営に向け、バザーの収益相当分等に応じて、補助金を通減させていくべきである。
A-11	滝沢村スポーツ少年団補助事業	滝沢村スポーツ少年団	青少年にスポーツを振興し、もって青少年の心身の健全な育成に資する。また、スポーツ少年団活動を通して、各単位団、異年齢団での交流を深め、豊かな体験を積み重ねていくことで、教育的効果が促され、より深い人間形成が進められる。	1 交歓交流大会及び派遣 2 指導者・育成母集団研修会・ジュニアリーダースクール及び講習会等の参加 3 広報事業 4 各種会議等の開催 5 チャグチャグスポーツクラブとの交流事業 等	882	事業の内容がルーティン化しているように見えることから、少子化の流れの中でも団員数を継続的に確保できるように、指導者の充実を図る等の新たな工夫が必要である。
A-14	滝沢村民生児童委員協議会研修活動事業	滝沢村民生児童委員協議会	民生委員法第24条では民生児童委員協議会の任務の一つに、民生委員の職務に関して必要な知識及び技術の習得をさせることを規定していることから、地区民児協、県民児協等との共催により委員の資質向上のための研修等を行い、滝沢村の地域福祉増進に寄与することを目的とする。	1 各種研修への参加 2 地区民児協主催研修を開催	1,602	事業の必要性は理解するが、研修の積算や使途が不明確である。地域福祉を担う重要な活動であるので、研修内容の充実だけでなく後継者の育成等にも注力されたい。
A-15	滝沢村社会福祉協議会補助事業	社会福祉法人 滝沢村社会福祉協議会	既存の福祉制度では解決できない様々な生活環境に対応するため、民間福祉活動推進の立場から様々な人たちの協力を得て、住民の生活環境の解決に向け活動を行う。	1 広報啓発活動 2 地域における福祉活動の推進 3 滝沢村社会福祉大会の開催 4 福祉教育の推進 5 福祉団体、ボランティア団体の育成 等	38,146	ほぼ職員の人件費に補助金を充当していることから、今後、職員の増員・昇給に伴い補助金が増大してくるので、今後の対応方針について早めに考えていく必要がある。 活動指標を村の全世帯を対象とした会員数としているが、達成が困難であることから、活動指標の見直しと共に、会費納入の仕組みについても再考する必要がある。
A-16	滝沢村身体障害者会員拡大・交流事業	滝沢村身体障害者福祉協会	滝沢村身体障害者福祉協会会員や村内の身体障害者手帳所持者の生活安定を図るため障害者の情報交換の場を提供し交流を図る。	1 岩手紫波地区身障スポーツ交流会への参加 2 会員の情報交換・交流事業 3 研修旅行実施 4 学習交流会 5 会のPR、会員拡大活動	100	活動指標が補助金執行額となっていることから、事業目的に合致した活動指標とする必要がある。また、会員数が増加するよう、事業名称の工夫等が今後必要である。
A-17	岩手県手をつなぐ育成会県大会及び全日本手をつなぐ育成会東北ブロック大会への参加事業	滝沢村手をつなぐ親の会	当親の会の上部団体である岩手県手をつなぐ育成会が毎年開催している県大会及び本大会に参加し、変動が激しい障がい児・者に関する情報を県等の関係者から直接聞くことができる良い大会となっており、また障がい児・者の親としての連携、そして各地の親の会の活動内容など様々な研修を行うことを目的とする。	全日本／岩手県手をつなぐ育成会等への参加	53	活動指標が補助金決定額となっていることから、事業目的に合致した活動指標とする必要がある。 会費を自主財源としているが、自主的な活動等によって財源を確保していくことを検討する必要がある。
A-18	滝沢村母子寡婦福祉協会研修・交流促進事業	滝沢村母子寡婦福祉協会	滝沢村内に居住する母子家庭・寡婦世帯の福祉増進を目指し、社会制度を学びながら、お互い励まし合い交流をすすめることで、精神的自立、生活の安定等につなげることを目的とする。	1 県／村母子協事業の普及啓発活動 2 母子寡婦世帯の現状及び諸制度の有効活用を学ぶ学習会の実施 3 親子のふれあい、子供の健全育成を目的とした母と子のつどいの開催 4 地域ボランティア活動への参加 5 上部団体等主催研修会への参加	90	活動指標が会員数となっているので、事業の目的と合致した活動指標とする必要がある。